

平成29年度一般会計予算 18億5000万円で編成

平成29年度当初予算の概要をお知らせします。昨年は厳しい財政状況の中、和紙の里ハブ化構想等で多額の予算編成となりましたが、本年度の一般会計予算は総額18億5000万円となり、前年度比2億5000万円減額となりました。

本年度予算は、「東秩父村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいた「細川紙」技術者育成、和紙による交流拡大、結婚・出産・子育て事業に重点を置いた予算となっており、また、「過疎地域自立促進」として、産業の振興、児童・高齢者の福祉および医療の充実など、村民の生活の活性化充実を図る目的となっています。

歳入

歳入は、税金などの「自主財源」と国や県に頼った「依存財源」の大きく2つに分けられます。「自主財源」が多いほど、村独自のサービス、将来に向けて積立を行うなど行政の自主性と安定性が確保されます。

東秩父村は、「自主財源」が全体の25%で、依然として財源の多くを「依存財源」が占めている状況です。

一般会計予算における歳入は、昨年度と比較して、個人住民税や固定資産税などの村税は200万円増額し2億4149万円となり、村の骨格である地方交付税は3700万円の増額となり10億5000万円を見込みました（歳入総額の56.8%）。

また、財源不足を補うため、村

歳出

歳出は、和紙の里ハブ化が終了し、普通建設事業費等が減額となったものの、人件費、物件費、補助費等で増額となりました。

性質別歳出は「義務的経費」と「投資的経費」、「その他の経費」に分けることができます。

「義務的経費」は人件費、扶助費、公債費で構成され、支出が義務づけられている経費で、前年度と比較して3467万円の増額となりました。

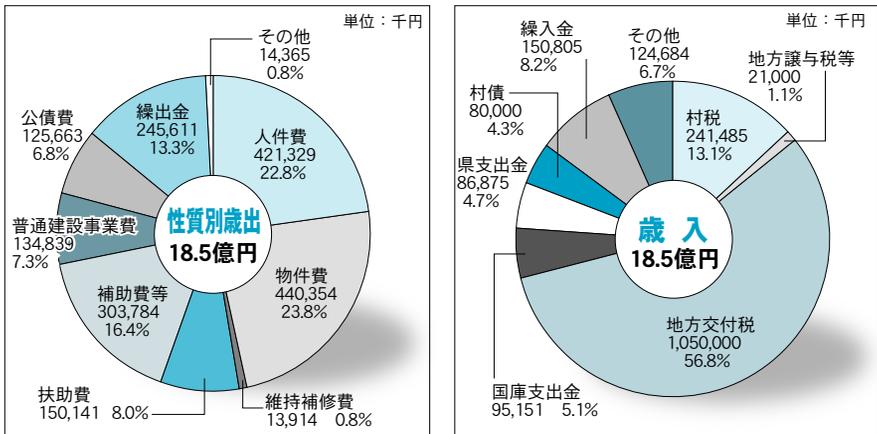
「投資的経費」は、道路や公共施設の建設など行政水準の向上にかかる経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費から構成されます。今年度の投資的経費

主要事業

平成29年度は、先にも述べた「東秩父村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業展開が主だった柱となっています。細川紙の手続き和紙技術を未来・後世に繋いでいくため、後継者育成事業に力を注ぎます。そこから、定住促進、「防災・医療・雇用対策・学校や地域」を新しい時代の要望に応える事業へと展開していきます。

また、「過疎地域自立促進」として、人口の著しい減少により地域社会における活力が低下し、生産機能、生活環境の整備等が低下している地域について、自立促進を図り、住民福祉の向上、雇用の増大等を目的として

一般会計予算の状況



平成29年度の主要事業（抜粋）

- ◆子育て支援
 - ・乳児（0歳児）保育（受入れ整備および受入れ）事業……………643万円
 - ・埼玉県コバトン健康マイレージによる健康増進事業……………24万円
 - ・早期不妊検査・治療に係る費用助成事業……………30万円
- ◆「細川紙」の普及
 - ・ユネスコ3紙（細川紙・美濃紙・石州半紙）連携事業……………274万円
 - ・細川紙・大河原和紙技術者研修生支援事業……………989万円
 - ・各村道等修繕・舗装工事費……………1564万円
- ◆道路網の整備
 - ・地籍調査事業（昨年度より継続）……………3578万円
- ◆国土調査
 - ・道の駅「和紙の里ひがしちちぶ」整備事業……………654万円
- ◆その他
 - ・「細川紙」ユネスコ登録周年イベント……………150万円

～東秩父村立小中学校 教育の振興を図ります～

平成28年4月に福島久仁子様（坂本）より東秩父村立小中学校教育の振興のためご寄付いただいた1,300万円につきまして、平成29年度より活用させていただくことになりました。活用例は以下のとおりです。

- ・小中学校の教材等の購入
- ・小中学校の授業に活用するパソコンの購入

その他にも随時活用させていただきますので、購入内容を広報誌にて紹介させていただきます。

基金・村債の状況（29年度未見込額）

- ◆基金（貯金）
 - 15億7,407万円
 - （前年度比1億3,774万円減）
 - うち財政調整基金
 - 13億2,012万円
- ◆村債（借金）
 - 19億1,111万円
 - 特別会計を含む
 - （前年度比4,877万円減）

会計別予算額

（単位：千円、%）

会計名	平成29年度	平成28年度	増減額	伸び率	
一般会計	1,850,000	2,100,000	△250,000	△11.9	
特別会計	国民健康保険	500,000	500,000	0	0.0
	介護保険	461,900	472,500	△10,600	△2.2
	合併処理浄化槽事業	49,300	49,000	300	0.6
	後期高齢者医療	34,000	34,000	0	0.0
	簡易水道事業	109,000	86,400	22,600	26.2
	計	1,154,200	1,141,900	12,300	1.1
予算総額	3,004,200	3,241,900	△237,700	△7.33	

特別会計

村では、一般会計とは別に、

特定の事業を行う場合に、そこを最大限活用して地域の自給力を高めるとともに、住民が誇りと愛着を持ち活力に満ちた地域社会を実現する村政を執行します。

特別会計があります。国民健康保険特別会計や簡易水道事業特別会計など5つの特別会計の予算総額は11億5420万円、前年度と比較して1230万円の増額となりました。